

第 11 回こども家庭審議会 科学技術部会	参考資料 2 - 2
令和 7 年 5 月 14 日	

令和 8 年度こども家庭科学研究実施方針案の作成に向けた意見一覧

令和 7 年 3 月 21 日
こども家庭審議会科学技術部会

- バイオサイコソーシャルの観点からの支援に、多胎、未熟児（早産児）、障害児などの子どもに着目した支援を入れられないか。超未熟などにより NICU で育った子どもと母親では愛着形成がうまくいかず、虐待に至るケースも少なくないと聞く。このような子どもと親を支援する方策についての研究を進めてほしい。
- ゲノム×環境で疾病のみならずその予防や健康増進が規定される。幼小児期からのゲノムとその発現情報の収集、分析が極めて重要と思われる。
- こども家庭庁には、今年度示された乳幼児身体発育調査結果において明らかとなった、「言葉の発達」の遅れ及び「ひとり歩き」の遅れに対して、要因分析を行っていただきたい。